

が く が く
楽学 ニュース

【編集・発行】

特定非営利活動法人

あだち学習支援ボランティア「楽学の会」

【事務所】 小林 徹方

〒121-0815 足立区島根1-8-11

ホームページ <http://gakugaku.web.infoseek.co.jp/>

平成24年を迎えて

楽学の会の持続とさらなる進展に期待



代表理事 小林徹

明けましておめでとうございます。

西暦を12で割って8があまる年が「辰年」となる。『「辰」は「振」(振:「ふるう」「ととのう」の意味)で、草木の形が整った状態を表している」とされる。』とのことです。楽学の会も本年は「整った状態」を持続するとともに、さらに進展していくことを期待します。

また、2012年問題というのがあります。今年に地球が滅亡するという予言です。マヤ文明の暦の謎と言われています。マヤ文明の暦では2012年12月22日で暦が終わっているとのこと。この予言は誰も信じないことでしょう。

私たちの足立区は平成24年度、区政80周年を迎え、これを「冠」とした各種事業の展開が予定されています。会としても区民に広く認知されるためにも、この冠のもとに事業を展開していければと思います。具体的には、楽学の会はNPO法人設立10周年を平成25年に迎えます。平成25年3月に記念事業を実施する計画です。これを機に広く区民に存在をアピールする場を作れると考えます。

会の主事業である「あだち区民大学塾」講座は23年度には17講座の実施が決まっています。本講座は区民の参加による絆づくりに貢献している事業と私たちは自負しています。本事業を区全体に広めていくことが重要であると考えます。

本年も絆をさらに強く、会が発展していくよう期待します。

平成24年は「勝負の年」 協働・連携とともに発展を

足立区生涯学習センター所長 平野昌暁

明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私ども生涯学習センターは受託4年目を迎えるにあたり、平成24年を「勝負の年」と位置づけています。これまで培った経験を活かし、飛躍を遂げるべく精進していく所存です。楽学の会の皆さまにおかれましては、これまで以上の協働・連携ならびにご協力を賜りまして、ともに発展できるようにしていきたいと考えております。

あらためまして、本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

各方面から年賀状を頂きました(順不同)

顧問の先生方

伊藤俊夫、大久保邦子、斉藤哲瑯、崎山みゆき、瀬沼克彰の各先生
賛助会員

木元栄子、油井久仁子、平木トミ子、関口博子、竹内絹代の各氏
生涯学習関連

渥美省一、櫛原文夫、札幌市生涯学習振興財団、NPO法人ハンドインハンド、近藤真司の各氏、

あだち区民大学塾講師

荒昌二郎、青山丈、石渡博明、小川美紀、近藤直子、木村繁、櫻井亜木子、佐藤安弘、佐々木明、外山義也の各氏



年頭に思うこと

市川茂敏

世界最速で超高齢社会へ進んでいる我が国。老いも若きも生きがいを持って元気に過ごせることが喫緊の問題。そのような社会への貢献も「楽学の会」の役割ではないだろうか。

その期待に応える会になって欲しい。お互いに力を出し合い、足らざるところは補い合い、再生の年にしたいものだ。特に理事の方々にこれを望みたい。会員の減少は大変気になる。会の実力や活動には数が必要。目標と責任を持ってこれを克服する気概を望みたい。

今年辰年

岡田スミ子

昨年は東日本大震災による甚大な被害や放射能汚染のための風評被害を受ける痛ましい出来事があった。この災害で絆が芽ばえ地域社会との繋がりが、いかに大切かを認識するようになった。

「楽学の会」も区民大学塾で学ぶ人たちの支援を通し地域と関わりながら順調な成果を得ている。しかし、残念なのは活動会員が半数に満たない状態で部会等で活性化を図るための討議やお誘いを行っている。

今年辰年、昇り龍の如く会員が強い絆で結ばれ飛躍する年になるよう願って！

広報活動を強めて

安藤寿

広報という文字を辞書で引いて見た。

「官公庁・団体などが一般の人に広く知らせるために行うPR活動」とある。自分は会の用件で会う人に必ずホームページを見てくださーいと言っている。講座の司会の冒頭では、楽学メルマガをPRして読者を増やす努力を欠かさない。今年もこれらの行動を一層強めて行くつもりである。

去年(こそ)の出来事

鹿島健一

新年明けましておめでとうございます。

今、昨年を振り返ると、私の身边には偶然・必然の出来事がありました。

3・11の東日本大震災は余りに大きな偶然の出来事。被災地・日本全国に計り知れない被害をもたらした。“楽”にとっても甚大な影響がありました。

3/27に突然緑川氏が急死、まさに偶然な出来事。“楽”としては重鎮を、私にとっても掛け替えのない友人を失い、茫然自失、空虚さを感じ、不安定な気持ちが付きまとう日々の連続でした。これも偶然。

私ごと、昨年10月には古希を迎え、好むと好まざるに係わらず老人の仲間入りです。これは必然。

近頃物忘れが顕著、智力・体力・気力ともに希薄になりつつある自覚があり、果たしてこのまま“楽”の仕事のを全うしていけるのか不安を覚える今日この頃です。

とは言え新年度を迎えてやはり前向きに行動しな

ければ、と自身を叱咤激励して皆様のお役に立てるようもう一踏ん張りしようかな、と考えているところです。

古希を迎えるとは……

金子勝冶

古希とはどうやら後輝(期)高齢者に向かう関門(賀の祝い「算賀」という習慣)をくぐり抜ける行事みたいなものらしい。古希の「古」は古来、「希」はまれと読み、唐の詩人 杜甫の漢詩「曲江」『酒債は尋常行く処に有り 人生七十古来稀なり』の一節や、古代中国に生きた思想家・孔子の「論語」『人、齡(よわい)七十、これ稀(まれ)なり』の中にもある様に、昔は七十年も生きることは稀であり、そうとうな長生きだったのだろう。

長寿社会となった今、70歳といってもそれほど長生きしたとは感じないのは何故なのだろう。でもまあ、いいか。ここまで来たのだから今日からは宮崎東明 長寿之詩『白髪漸く交ゆ 還暦の寿 古稀獲得して 更に欣然齡喜米に昇るは 天恵に依る 遂に是れ 歡び迎う百歳の年』の心境で加齢(華麗)なる人生を諸氏と共に親(久)しく酌み交わし、味わい深くものんびりとしたたかさで生き抜いていこう。

一日を大切に

尾島美津江

昨年の東日本大震災にて、多くの命が一瞬にして失われた。人の命は今は無事でも明日は何が起きるかわからない、はかないものだと思う。人の命のかなさに出会うたび、平凡な日々を大切にすると思うが、惰性に流されてしまいがちである。

近頃、親交のあった人たちの訃報にあう事が多くなった。年のはじめに思う。日々を大事に過ごそう。

生き甲斐を求めて

佐久間實

楽学の会のメンバーとなってから2年目のスタートとなりました。お陰さまで楽しく話し合える仲間ができ、学習支援ボランティア活動が私の生き甲斐の一つとなりました。併せて消極的であった歴史と文学の講座企画の仲間にも入れてもらい『楽しく、いや苦しく』脳の活性化を図っています。また、ニュースの編集にあたっては広報部の皆様に教えて頂き勉強になりました。これからは、自分の生き甲斐を求めるだけでなく、新入会員の方、特に、若い方にも力も借りたいと思っています。

平成 24 年度の抱負

安田善英

大学に提出する課題に楽学の会のこれまでを書いてみた。その時思ったのは、今、大変だろうけれど、NPOになるまでの苦勞に比べたら楽しいなと思いました。ただ、未知に対する対処の仕方が分からないだけと思いました。河合隼雄先生の言った、『苦る楽しい』を実感しています。超えるべき時仲間にも恵まれていると思います。

「辰の如く、元気！」

田中国弘

今年は辰年。「漢書 律曆志」では「動いて伸びる」「整う」の意味とある。会もいろいろと厳しい面もあるが、NPO 法人設立 10 周年を目指し、文字通り初心にかえり、動いて伸びて、体制を整えて、「辰の如く元気！」にと思う。そして多くの人に関わりあえる広報をめざして皆さんと今後も前向きに、楽しく、明るくやって行きたい。

多くの会員の文化(経験や希望)を活動に

相馬義人

健康を維持していくことが第一です。

正月NHK「ラジオビタミン」でゲストのジャーナリスト鳥越氏が「歴史観をもたない人はダメ、一国の文化を他におしつけるのは間違いで他の国の文化は別のものであるとして認める、人間とはなにか?を考える」と話していたが、世の中一般ではなく、楽学の会を対象に当てはめて、一人でも多くの会員の文化?(経験や希望)が活動に反映されれば良いなと思います。

スキルアップ

齋藤龍男

今年の「干支(えと)」は「辰」。私は、1940年(昭和15年)「辰年」生まれの「龍男(たつお)」。誕生日を迎えると72歳。最近、欲が出てきて、あと10年、あわよくば、もう1度辰年を迎える84歳まで、元気で生きたいと考えている。しかし、ただ生きているだけではしょうがないので、「健康で文化的な生活」を享受したい。

そのためには、改めなければならない「生活習慣」が多々あるが、積極的に生活をエンジョイできるよう、「健康」に関しては、毎日の「ラジオ体操」と「ウォーキング」、そして「ゴルフ」の3点セットの遂行。「文化」に関しては、「楽学の会」のボランティア活動である。

今年は、各種講座に積極的に参加してボランティアとしてのスキルアップを図りたい。

健康で、明るく

市川道子

この一年もやはり健康で明るく行きたいと願っています。会員同志の信頼を強くし、区民の皆さんに喜ばれ、必要とされる講座を提供できればと願っています。今年も微力な私に力をお貸しください。よろしく願いいたします。



思いを

喜多村政夫

昨年は東北地方太平洋沖地震が発生し、福島第1発電所で事故が起きた。この半年余り、たくさんの方々からの色々な思いに接することとなった。原子力に係わってきたものとして、皆さんの思いを切実に受止め、何がいけなかったのか、私に何ができるのか、考える日々である。

たくさんの方々に正しい知識、正確な情報をすこしでも伝えることが、今の私にできる役割かもしれないと思う。無責任な発言が氾濫する中、情報の裏を取ることに難しさを感じるとともに、最後は個人々々が学び続けることが大切と感じている。

災害・原発事故を乗り越えて

江川武男

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

昨年は、大震災・大津波・原子力発電所事故と大変な年でした。6月に被災地である松島から石巻市まで見てきましたが、とても言葉では言い表すことが出来ないすさまじい光景が広がっていました。

人的および物的被害は、想像を超えるほど甚大でしたが、日本にとって最も重大なのは、原子力事故ではないでしょうか?小さな子供達の将来は大丈夫でしょうか?

風評被害をもたらないように、私たち老人は放射能の事などあまり気にせずに生きていくのが一番と思います。

暗い話になってしまいましたが、気分新たに、今年こそは良い年でありますようお祈りします!!

10周年に思う

大藤久子

NPO 法人10周年記念事業準備委員会が発足しました。

会員、地域への情報発信の場と新しいネットワークを構築し、記念行事を広げたいと思います。多くの参加者をもとめ、学習支援の場、交流の場を創り、楽しく学び、健康を元に 学びのネットワーク、地域の絆にすること。記念事業を成功させたいと思う。


良い方向に変わるように心がけて

田中桂子

昨年は私にとって大変!と思うことが重なり、友人から大変とは良くも悪くも「大きく変わること」で、良い方向に少しずつ大きく変えていくことの方が大切と言う言葉をいただきました。新年に何気なく目に触れた運勢の欄に、「希望がかない、何をやっても楽しみに変わる」と書いてありましたが、あんなこと、こんなことを私のお気に入りとして受け止め携わって、大きな楽しみ、喜びに変わるように心がけていきたいと思いました。自分のことも、楽学の会にとっても、良い方向に変わっていければと思っています。

平成 23 年度大学塾第 4 ステージ開催案内

講座開催案内

<p>講座名： 平家物語・平 清盛 ～平清盛と織田信長の 意外な関係と野望・実像～</p>	<p>講師名：あとへばん 跡部 蛮氏 歴史ジャーナリスト（足立区在住） 著書：『実録新・戦国ミステリー99』 「信長は光秀に『本能寺で家康を討て！』と命じていた」他</p>	 <p>平清盛と織田信長の 意外な関係と野望・実像</p> <p>平成24年3月9日・16日・23日 各金曜日 午後2時～4時</p>												
<p>開催日時：平成24年3月9日(金)、16日(金)、23日(金) 14:00～16:00</p> <p>開催場所：足立区生涯学習センター 研修室1</p>		 <p>源氏物語入門Ⅲ ～自分流で読む「源氏物語」～</p> <p>開催日 毎土曜日午後2時～4時</p> <table border="1" data-bbox="1045 1019 1444 1153"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>月日</th> <th>講義内容</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3月17日</td> <td>「桐壺」の巻 ～「源氏物語」全巻の「桐壺」の巻から読み解く～</td> <td>国文学研究者 竹石たか枝氏</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3月24日</td> <td>「宵宮」「賀茂」の巻 ～永遠の女性「桐壺」の巻から読み解く～</td> <td>足立区在住</td> </tr> </tbody> </table>	期	月日	講義内容	講師	1	3月17日	「桐壺」の巻 ～「源氏物語」全巻の「桐壺」の巻から読み解く～	国文学研究者 竹石たか枝氏	2	3月24日	「宵宮」「賀茂」の巻 ～永遠の女性「桐壺」の巻から読み解く～	足立区在住
期	月日	講義内容	講師											
1	3月17日	「桐壺」の巻 ～「源氏物語」全巻の「桐壺」の巻から読み解く～	国文学研究者 竹石たか枝氏											
2	3月24日	「宵宮」「賀茂」の巻 ～永遠の女性「桐壺」の巻から読み解く～	足立区在住											
<p>同時代に書かれた資料などの解説もまじえ、公家や後白河法皇との確執、さらには彼を取り巻く絢爛豪華な女性たちとの関係...そして、意外にも多くの共通点がみられる織田信長との関係を通じて“人間・清盛”の実像に迫ります。</p>														
<p>講座名： 源氏物語入門 ～自分流で読む 「源氏物語」～</p>	<p>講師名：竹石たか枝氏 国文学研究者（足立区在住）</p>													
<p>開催日時：平成24年3月17日(土)、24日(土) 14:00～16:00</p> <p>開催場所：足立区生涯学習センター</p>														
<p>いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひけるなかに・・・ではじまる「源氏物語」の優雅な原文を味わいながら、光源氏の永遠の女性「桐壺と藤壺」を通し、時を超えて、様々な女性の生き方に思いを馳せる講座です。</p>														

上記講座が開催されます。会員の皆さん、協力し成功させましょう。
大学塾講座運営スタッフへの参加をお待ちします。

申込先：事務局 電話・FAX 03-5813-3759（平日1時～5時）
E-Mail（齋藤龍男）：t3436s@yahoo.co.jp



（ボランティア活動推進部）

平成23年度あだち区民大学塾 第3ステージ開催報告

講座開催報告

コミュニケーション「力」

佐瀬千恵子

平成23年12月7日(水)、14日(水)、21日(水)、午後2時～4時、生涯学習センター研修室1で開催された。応募者17名、出席者延べ37名、運営スタッフ7名。

講師は自己開発研究所代表、後庵正治氏。毎回机は使用せず、椅子だけの会場づくりの中で、講義と体験学習を重んじた講座でした。

講座内容は、3人1組のロールプレイング「話す人、聴く人、観察する人」を体験しあう形式でした。5～6人のグループワークでは「自分が住む隣近所の方の名前や特徴を思い浮かべてシェアする」ことも体験し、話すこと聴くこと

の大切さ、難しさを実感しました。

地域の縁、人の触れ合い、挨拶、認め合い、人を受け入れること、自分をよく知る自己理解がより大切になるという講義でありました。

アンケートから、「老後を楽しく生きたい」「積極的に人に働きかける技?を学べた」「内容がむずかしい」などでした。



池波正太郎の世界

安藤寿



講座名：新田センター協働講座 池波正太郎の世界を探る ～その人と作品～

講師名：中島勝正氏・当会正会員

会場：新田地域学習センター

実施日：平成23年12月10日(土),17日(土),23日(金、祝日) 3回講座。開催時間はいずれも午後2～4時。

講座内容：22年7月に学びピア研修室で開催されたものを講師と打ち合わせの上内容を一部リメイクして開催。応募者は30名となったがあだち広報に会場が明記されておらず

新田センターということで実受講者は18名に留まった。講座内容は池波正太郎の師長谷川伸門下生の世界から始めて、個々のテーマに移った。“森を見てから木を見る”中島先生独特の世界であった。アンケート結果は好評であり、講師と受講者との暖かい繋がりが感じられる講座であった。数少ない受講者の中にメルマガを見て応募された方がいた。このことはこれからの時代を予感させる良い感触として受け止めた。



運営ボラ：鹿島、原田、江川、安藤4名。

宇宙のなぞを調べてみよう

小林徹

12月25日(日)、東和地域学習センターにおいて、共催のもと、小学4年～6年生を対象に講座を開催しました。20名の児童が参加、宇宙に興味のある児童が多かったためか、講義中は皆静かに最後まで聞いてくれました。



前半に地球誕生と太陽系惑星の話、休憩を挟んで後半はロケット・人工衛星の話をしたが、後半でロケット及び人工衛星の動画を投影、その際は全員じっとスクリーンを眺め、楽しそうに見てくれました。

保護者の付き添いも数名あり、アンケートより、大人でも楽しめたとの感想をいただいた。また、「学校で配られたチラシを見て来た」という児童が多く、学校へのチラシ配布が成功したと思われる。いま話題の人工衛星



「はやぶさ」はほとんどの児童が知っており、宇宙に対し関心をもっている児童も多くいることに安心しました。

NPO法人 すみだ学習ガーデンとの情報交換会 報告



12月15日(木) 当日はすみだ学習ガーデンより佐原理事長以下8名が来訪、当会より小林代表理事外11名が出席して行われました。10周年記念行事のノウハウと成功への秘訣・NPO事業運営の現状と将来像についての情報交換を目的として、すみだ学習ガーデンよりは各事業部の担当理事より、昨年実施された10周年行事「10年のあゆみ」への取り組み方や事前の準備の要領やポイントを苦労話も交え話していただきました。また、事業運営に関しては会員の獲得、受託事業、受講者層の高齢化、広報手段、等についても我が会と共通課題が多くあり、意義のある情報交換会と成りました。会場を変えての懇親会はお互いに顔見知りの方も居られたため、更に両者の関係を深める為の話し合いが和やかに

行われました。

「NPO法人すみだ学習ガーデン」は、墨田区民のための総合的な生涯学習を担う、区民によるボランティア組織です。平成12年10月にはNPO法人化し「学習サポーター」として多方面にわたる生涯学習講座をはじめ、学習成果の発表会や講演会、コンサート、子ども向けイベントなど、数多くの企画・運営に取り組んでいます。平成21年度には、生涯学習講座「さくらカレッジ」の開講数は年間130講座を上回り、受講者も延べ16,000名あまりに達しています。

(ボランティア活動推進部)





万葉公園（小菅）



五反野親水緑道

1. 小菅駅：開設大正13年10月1日

駅所在地は足立2-46-11 一日乗降客約5,000人。小菅といえば東京拘置所。だが此处は葛飾区にある。明治2年小菅県が設置され県庁舎だった所。遡れば江戸時代9代将軍家重がお狩場の発着点とした「小菅御殿」である。小菅を開拓したのは後奈良天皇の時代、今の群馬県、長野原方面から来た大胡一族という。その名は、牛込、大庫となり大庫家が拘置所近くに一軒あると言う。小菅はこの付近に菅や萱が多く、菅は萱より背が低いので小菅と称されたとされている。付近巡りは先ず万葉公園。これは古隅田川が荒川放水路開削で隅田川への水路を絶たれた後、



東武線 小菅駅



下山国鉄総裁追悼碑

親水路として整備され循環水を利用した憩いの

場所であり、葛飾区との区界でもある。降雨などで新水路が溢れたとき綾瀬川に放水できる設備が備わっている。

次に訪ねたのが下山国鉄総裁追悼碑。昭和24年7月下山事件発生、昭和26年7月下山定則氏記念事業会により記念碑を現場付近に建立。平成3年5月常磐線橋梁改良工事に伴い本位置に移設された。



東武線 五反野駅

2. 五反野駅：開設大正13年10月1日駅所在地は足立3-34-6一日乗降客約

32,000人。開発は江戸時代、武蔵千葉氏の家臣京極弥五郎が新田開発した「五段野」、ほとんど田畑だった所。

(1) 最初に訪ねたのは、西之宮稲荷神社内の五反野祭囃子保存会である。代表の野尻和良氏をはじめ、会員の方々の温かい歓迎を受けた。この日は、祭囃子の練習日であり、練習場所が神社境内の神楽殿の中にあっただけで、立派な神社の佇まいと神楽殿を拝見することができた。因みに神社の創建は、1574年(天正2年) 当時は西之宮といい、1912年(大正元年) 3つの神社と稲荷神社を合祀「西之宮稲荷神社(地域の総鎮守)」となる。会員の方の話によると田んぼがあった。その後徐々に



西之宮稲荷神社



お囃子・獅子舞練習風景

発展してきた。そして、五反野祭囃子保存会の発祥は明治10年以前である。それは、太鼓の「胴」の部分に明治10年と記されており、寄付者の名前と寄付金の記録がある。また、金額の単位が定まっていなかったのか、何十何銭とか、何朱・何匁・米何合など。当時の生活の一端と発祥の古さを語る貴重な資料である。戦争で一時休んだが昭和39年に団体を結成。結成の際には地域の人々の温かい支援があったことを語ってくれた。また、五反野小学校には毎年10月に訪れたり、60周年の祝や、弘道小学校のフェスティバル・弘道1小学校・幼稚園など地域との交流も盛んである。また、小学生も練習に参加するなどしている。祭囃子の練習と獅子舞など拝見させて頂き、温かい温もりを感じながら、エールを交換して辞してきた。



明治10年の小太鼓の胴



区役所北館屋上のエコガーデン

(2) 足立区役所北館屋上エコガーデン、足立区民約67万人の生活の安全・安心を守り文化の向上、住環境の整備などに尽力されている区行政はエコにも力を入れている。エコガーデンには温暖化現象を防ぐ植物や雨水タンク、太陽光発電設備などが設置されていて区の方針が分かる。

(安藤、今野、神戸、田中桂、佐久間)

みんなの 広 場

みんなの広場は、会員の憩いの場です。毎号スペースを設けます。
自由気軽に、趣味、生活の知恵、心に残った言葉などを寄稿してください。
送付先は下記の相馬までお送りください。(300字～500字以内)
FAX.03 - 3889 - 8202 E-mail: yoshi.soma@viola.ocn.ne.jp

ボランティア活動から、当事者(障がい者)活動～そして生涯学習～ 高見沢公彦

6歳の頃障がいを持ち、昔は(昭和20～30年代)普通の人と同じように出来ることが求められていた。医療施設から学校を終わり、昭和35年東京へ就職で出てきた。昭和41年にボランティアサークルに入り、児童養護施設の活動から、私の社会参加が始まった。ボランティアで知り合った知人と仕事を始めたが、3年ぐらいで独立し自営業となる。ボランティア活動には都合がよかった。昼間は活動で、深夜に仕事をしていた。

近年(平成)になって、自立生活センター(障がいを持つ者自身が運営する仲間への介護派遣事業)に出会い、当事者活動を初めて知る。現在は「精神保健福祉ボランティア」が主な活動、「傾聴」が中心である。精神の病を持つ知人も沢山出来て、当事者会にも参加し、様々な活動をしている。普段は週に2回向島にある、「NPO法人こらーるたいとう」で活動。ここは精神の病で入院の経験を持つ女性が立ち上げた、「精神障がい者ピアサポートセンター」だ。

とにかく様々な研修会や運動(障がい者を取り巻く様々な施策について国への要望等)にも参加。厚生労働省へも行き、担当者との会合、国会議員とのシンポジウムにも参加した。当事者運動が様々な成果を産んでいる。駅にエスカレーター、エレベーターの設置、街のバリアフリー化など。ベビーカーを利用する人、大きなバッグを持つ旅行者も、駅のエレベーターには助かっているのではないか。

社会の中で困難な人々を、その人々の生活が当たり前になること。そのことが「安心して暮らせる社会」だ。今は、障がい者自立支援法から「障がい者総合福祉法」に、当事者参加により、骨格が出来上がった。今国会に上がり、来年には施行予定?果たして、すんなりと法律として誕生するかどうか。今年が当事者運動の山場でもある。在宅で介護をしている人、介護を受けている人々にも、大きく関わる問題。就労・医療・福祉は、一部の人のものではない、「生涯学習」として学ぶべき大きな課題でもある。いま、家族の介護で大変な思いをしている人たち、当事者活動、政治の動きに注視をお願いしたい。また、行動してほしいものである。



2011年10月28日 JDF大フォーラム
日比谷大野外音楽堂

運営委員会だより

平成24年1月度運営委員会は1月10日(火)に開催。
議事録を基に報告する。

議 事

1. 小林代表理事の報告及び提案

- 1) 早坂相談役に運営委員をお願いし、1月から運営委員会に出席する。
- 2) 平成24年は足立区政80周年 区・学習センターと協働し事業を実施会活動を盛り上げる
- 3) 理事会の開催 12/20臨時運営委員会の決定に基づき1/24午後4時から理事会を開催。
議題「10周年事業及び実行委員長等の選出」「24年度楽学の役員改選」。
2. 10周年事業 準備委員会議事録を基に代表から準備委員会検討結果の説明と今後の進め方。
 - ・1/24理事会で本事業の実施を確認・決定
 - ・実行委員会立上げ委員長及び役割責任者決定。
 - ・会員全員が参加し、役割を分担。
3. 24年度生涯学習ボランティア養成講座
センターとの打合せを至急行う。代表、安田、金子、江川(事務局)の4氏で行う。
4. FAXによる講座案内 登録者は現在8名で、1～3月の講座案内を表紙と共にFAXする。
5. 他団体との交流等
 - 1) 目白大学公開シンポジウム1/28 13時～
於目白大学 研修事業とし交通費支給
 - 2) ボランティア全体研修会

1/24 10時～ 於世田谷ボランティアセンター(交通費支給)

2/5 10時～ 於生涯学習センター 研修室3.

6. あだち区民大学塾

- 1) 1/17講座検討会議
- 2) 2/1講座企画会議
- 3) 地域協働講座
1/13～「俳句」東和センター

7. 各部局からの報告および提案

- <学習支援部>
- ・1/11 24年度受託講座の検討。
 - ・1/30月例会(新年会)への参加再度募集
- <ボランティア活動推進部>
- ・Anet(新年会)「今後のあり方」打合せ会1/26
代表、岡田、江川出席
- <広報部>
- ・ニュース171号に「新年の抱負」の原稿提出を全員に依頼
- <事務局>
- ・緑川祥元氏を偲ぶ会 2/13各部会で参加呼びかけをお願いします。(現在14名と奥様)
 - ・瀬田事務局長が当分の間会の業務を出来ないため代理業務を今期江川理事が行う。
- #### 8. その他
- ・24年度特別講演(案)候補 櫻井亜木子氏とする。
詳細を打合せ後、改めて報告。(江川武男)

生涯学習センター

ボランティア情報

今月の生涯学習センター講座運営ボランティア募集はありません。(ボランティア活動推進部)

生涯学習センター情報

お茶の水女子大学連携講座 「イスラーム世界と日本」

日 時：3月18日(日) 午後2時～4時
場 所：生涯学習センター 5階 研修室1
受講料：無料

内 容：2011年は、チュニジア、エジプト、そしてリビアでの一般市民による「政権交代」が世界のトップニュースとして報じられました。幕末明治維新以来の日本との交流、女性とヴェールなど、身近な問題からイスラーム世界を理解する講座です。

講 師：三浦徹氏
(お茶の水女子大学教授・放送大学客員教授)

国立極地研究所連携講座

「南極に学ぶ、地球のあした」

日 時：3月3日(土) 午後2時～4時
場 所：生涯学習センター 5階 研修室1
受講料：無料

内 容：南極の雄大な自然環境を実際に紹介しながら、温暖化の現実を知り地球のあしたを考えます。

講 師：伊村智氏(国立極地研究所教授)

申し込みは生涯学習センターに

電話(03-5813-3730)または直接窓口へ

平成24年2月 月例会のご案内

日 時：2月27日(月) 午後6時30分～
場 所：生涯学習センター 5階 研修室4
テーマ：「第3ステージ講座の振り返り」

+ ディスカッション

「万葉集」, 「一葉」, 「ワイン」, 「宇宙」,
「大江戸入門」, 「中国音楽&変面」,
「コミュニケーション」, 「池波正太郎」

発表者：各講座コーディネーター

男たちのボランティア 2012 参加者募集

日 時：2月25日(土) 1時～5時(12時受付開始)
場 所：足立区役所 2階庁舎ホール
内 容：ボランティア、NPO活動紹介

講演「東日本大震災とボランティア」13:10～
地震・津波・原発事故 三重苦のふるさとを惜しみ

NPO法人ふるさと学舎 理事長 荒昌二郎氏

ボランティア・NPO団体活動紹介 14:20～

懇親会：南館14階 展望レストラン

16:00～ 参加費2千円

会員の積極的な参加をお待ちしています。

申し込みは、ボランティア活動推進部迄

楽学インフォメーション 会合のお知らせ

運営委員会

2月 1日(水) 午後3時～5時 研修室2

月例会

2月27日(月) 午後6時半～ 研修室4

学習支援部

2月 7日(火) 午後2時～4時 ワークルーム

ボランティア活動推進部

2月 7日(火) 午後2時～4時 ワークルーム

広報部

2月 6日(月) 午後2時～4時 ワークルーム

2月24日(金) 午後2時～4時 ワークルーム

2月27日(月) 午後2時～4時 ワークルーム

事務局

2月 7日(火) 午後2時半～4時半ワークルーム

2月28日(水) 午後2時半～4時半ワークルーム

(ニュース発送)

大学塾講座検討会議

2月14日(火) 午後3時～5時 研修室3

大学塾企画会議

2月 1日(水) 午後1時半～3時 研修室2

ホームページ,メルマガ企画会議

1月は月末の更新作業とします。

お問い合わせ&ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 瀬田佳男 電話：03-3896-2462

E-Mail：spnw9gd9@future.ocn.ne.jp

「ホームページ」に関するお問合せ

広報部 田中国弘 電話：03-3856-9290

E-Mail：ku-tanaka@asahi.email.ne.jp

メルマガ・ホームページからのお知らせ

- ・「会員お役立ち情報」をお楽しみください。ログインが必要です。忘れた方は次を入力。ユーザー名：guest パスワード：haya0101
- ・メルマガは第18号を2月初めに配信の予定です。読者150人達成を目指します。お知り合いやご家族への勧誘もよろしくお願い致します。

編集後記

皆様明けましておめでとうございます。

今年は会がNPO法人となって9年目、来年は設立10周年の節目を迎えます。我が足立区は本年80周年となり、会も行政も周年記念行事を予定しています。会の9年間の活動の蓄積を生かし、全員で初心に帰って活動を盛り上げることにより、区民の皆様喜んでいただける行事にしようではありませんか。 安藤寿